

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

廿日市市立佐方小学校

### 【令和6年度全国学力調査平均通過率】

国語の平均正答率は、全体・領域別に見ても、県平均・全国平均を大きく上回っています。算数は、全体は県平均と同じで、全国平均を上回っています。しかし、領域別で見ると、「数と計算」「図形」の平均正答率が県平均・全国平均を下回っています。

国語	全体	話す・聞く	書く	読む	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項
本校(佐方小)	73	62.7	73.4	73.2	72.8	89.1	80.4
広島県	69	61.3	70.5	72.6	65.9	88.0	76.3
全国	67.7	59.8	68.4	70.7	64.4	86.9	74.6

算数	全体	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
本校(佐方小)	64	65.6	65.5	51.8	64.4
広島県	64	66.6	67.5	50.8	63.0
全国	63.4	66.0	66.3	51.7	61.8

部分が県・全国平均値を下回っているものです。

### 【重点課題と今後の取組】

<国語>

- 人物像を具体的に想像する。 3二(2) (通過率 67.4%)

▼人物像を具体的に想像することに課題がありました。

⇒人物像については登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、総合的に判断していくよう指導します。

<算数>

- 球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す。 3(3) (通過率 29.3%)
- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさに関係について理解している。 2(2) (通過率 63.0%)

▼立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質を考察することに課題がありました。

⇒具体物を活用しながら、図形を構成する要素である面と面や、辺と辺等の位置関係に着目して、立体図形を見取り図や展開図で表したり、見取り図や展開図から図形を構成したりできるよう指導します。

▼除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさに関係について理解することに課題がありました。

⇒公式や計算のきまりを使う問題に繰り返し取り組みます。

⇒学習の系統性を意識し、既習事項を想起させることで、前学年の学習とのつながりを実感させながら学習できるようにします。